

平成 21 年度 京都大学大学院理学研究科 (数学・数理解析専攻)

数学系 入学試験問題

外国語

- ⊗ 問題は 2 題ある。2 題とも解答せよ。
- ⊗ 解答時間は 1 時間 である。
- ⊗ 辞書を用いてもよい。

[注意]

1. 指示のあるまで開かぬこと。
2. 解答用紙・計算用紙のすべてに、受験番号・氏名を記入せよ。
3. 解答は各問ごとに別の解答用紙を用い、問題番号を各解答用紙の枠内に記入せよ。
4. 1 問を 2 枚以上にわたって解答するときは、つづきのあることを用紙下端に明示して次の用紙に移ること。
5. 提出の際は、解答用紙を問題番号順に重ね、計算用紙をその下に揃え、記入した面を外にして一括して二つ折にして提出すること。
6. この問題用紙は持ち帰ってよい。

① 次の文章の下線部を和訳せよ.

...

(原文省略)

...

(出典: “Hermann Weyl 1885-1985” A. Borel 他)

② 次の問に英語で答えよ。

(1) 級数 $a_1 + a_2 + \cdots + a_n + \cdots$ が絶対収束することの定義を書け。

(2) 絶対収束する級数と条件収束する級数の性質の違いを述べよ。